



令和4年度

横浜市立生麦小学校

# 学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 小倉 孝行  
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



10月(神無月)

あれから1年、子どもたちはたくましく成長しています

校長 小倉 孝行

学校の時計台のそばにある金木犀が咲きました。日中はまだ蒸し暑い日がありますが朝夕の少し肌寒い風に秋を感じます。二者面談ではご多用の中、来校いただきありがとうございます。また、校内を歩いているとお子さんの様子やご意見をお聞かせいただいた方もいらっしゃいました。どうもありがとうございます。1年前を思い出しますと、夏休み明けから臨時休校となり、その後1か月間にわたって分散登校が続きました。昨年9月30日に神奈川県緊急事態宣言が解除され通常登校が始まりました。あれから1年。徹底した感染症対策の継続は変わりませんが、子どもたちの笑顔を毎日見られることに幸せを感じます。



ゴールまで全力で走り抜く子どもたち

運動会の練習が始まりました。今年のスローガンは「せいせい堂々 みんな全力 思いをぶつける運動会！！」です。特に「せいせい堂々」と「全力」に気持ちを込めたと、運動会実行委員会の代表児童が朝会で話しました。子どもたちは一生懸命徒競走や演技などの練習をしています。先日、私は徒競走のタイム測定の様子を見ていました。ゴールまで力を抜かず、走り抜く子どもたちにおどろきました。これは当たり前なことではありません。ご家庭でも全力で挑戦することの大切さを伝えていただいているおかげだと感じました。また今回は全校児童で、ペア学年同士による「ダンス(準備運動を兼ねたダンス)」をします。たてわり活動(異なる学年との交流)は生麦小学校の大事な活動の一つです。相手を思いやる心の成長につなげたいと考えています。運動会当日、子どもたちが一層達成感を味わえるよう、丁寧に指導をまいります。ご家庭でも練習の様子を聞いていただき、ぜひ、お子さんの頑張りを褒めてあげてください。

保護者の皆様、地域の皆様、「『届けよう、服のチカラ』プロジェクト」(着なくなった子ども服を難民など服を必要とする方に届ける取組)にご協力いただきありがとうございました。現在1508着もの服が集まりました。子どもたちは自分たちの取組に感激しています。

新しい教育(学習指導要領)になり3年目になりました。子どもたちに身に付けてほしい力の中に「課題を解決する力」というものがあります。自分のもっている知識で様々なことを解決することも必要ですがほかの人の考えを柔軟に取り入れたり、コミュニケーションを通してよりよい考えや新たな疑問点を見つけ出したりすることも必要になります。今回のプロジェクトも「どうしたらたくさんの服が集まるのだろうか」という問いを、子どもたちが繰り返し検討しアイデアを出し合っていました。国語や算数など教科等の授業でも、試行錯誤を重ね、問題を解決していくという過程を大切にしています。自分の考えをクラスメイトに納得してもらおうと頑張っている姿を見ると、今後変わりゆく社会の中でも、生麦小学校の子どもたちはたくましく生き抜いてくれると想像します。

季節の変わり目です。夏の疲れが出やすい時期ですので、皆様どうぞお身体にはお気を付けてください。10月もよろしくお願いたします。

## ○ ご協力ありがとうございました

8、9月は多くの方にご協力いただきました。学援隊、校外委員の皆様には登校時の児童の見守り、主任児童委員の矢島様(生麦学び・遊び場の会代表)には校門での朝の挨拶活動の参加、生小まごころ隊の皆様には家庭科のミシン学習の手伝い、保健成人委員の皆様、PTA会長向井様には子ども服の箱詰めをしていただきました。ほかにもたくさんのご協力をいただいています。いつもありがとうございます。

## ○ 生小ホームページのアクセス数が9万件を超えました

いつも学校のホームページご覧いただきありがとうございます。今年度、非常に速くアクセス数が増えています。学校の日々の様子が載っていますので、ご家庭でのお子さんとの会話の際にご活用ください。